

令和5年度第2回 長崎大学認定再生医療等委員会議事概要

- 一 日 時 令和6年1月15日（月） 16：00～16：10
- 二 場 所 第一会議室（中央診療棟2階）
- 三 出席者 三浦委員長、糸永委員、長井委員、蒲原委員、川島委員、福崎委員、飯田委員、山下委員
- 四 審議事項に関与するため審議に不参加の委員 住田副委員長
- 五 欠席者 吉村委員
- 六 議 事

1. 認定再生医療等に係る審査について

(1) 定期報告

再生医療等の名称：自家多血小板血漿を用いる歯槽骨萎縮症に対する骨増生の医療
報告期間：令和4年12月2日～令和5年12月1日

責任者である住田教授から、資料1に基づき、再生医療提供（治療）に関する概要と定期報告について説明があった。

【質疑応答】

- ・ 患者のフォローアップについて、今回の該当期間の症例に限らずこれまで実施した症例に関して、定期的に受診されて評価ができているか。
→手術後に骨増生を行いインプラントを埋入するため、継続的に治療に通われることとなる。その治療の中で、画像やCT等にて評価を行なっている。
- ・ 本治療の安全性ないしは有効性に関する評価やフォローアップについて、システムティックに適切になされているという理解でよいか。
→そのとおりである。

【審議結果】

審議の結果、定期報告内容について特段異論はなく、全会一致で本定期報告の内容は適切であるとされた。

以上